

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 鳥羽市	対談項目1 海女文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・海女文化の県の無形文化財登録を振り返って ・海女に関する観光振興について ・国の無形文化財登録、ユネスコの無形文化遺産登録に向け、どのような活動を予定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海女文化が県の無形民俗文化財として登録されました。 ・次は国指定、そしてユネスコ登録ですが、このユネスコ登録については順番待ちと聞いています。 ・全国で海女は2,000人いますが、その内500人以上が鳥羽市におり、私達が率先してこの問題を取り上げていかなければならないと思っています。 ・今後の海女漁の振興に関する県の取組について教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年1月、全国では初となる海女文化の県無形民俗文化財指定をしました。 ・さらに今年5月には、国重要無形民俗文化財指定に向けて、文部科学大臣に要望し、前向きな回答を得ているところです。 ・国文化財指定に向けては、地域調査が必要なことから、早期にこの調査が行われるよう、再度強く働きかけをしていきます。 ・10月には志摩市で「海女サミット」を、12月には「全国海女文化保存・振興会議」を開催することで、国文化財指定への機運を高めていきたいと思っています。
		海女漁の振興に対する県の取組について		<ul style="list-style-type: none"> ・海女漁業の存続のため、海女の収入を増やすべく、今年度から、アワビ種苗の大型化の実証実験やコンクリート板による放流漁場造成、アワビ種苗放流の簡易版マニュアルの作成、赤ナマコ量産技術開発、鳥羽市国崎での増殖場造成事業への補助、海女もん商品のPR等に取り組んでいるところです。
2				

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 鳥羽市	対談項目2 鳥羽の豊かな地域資源を活用した一次産業の振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽マルシェへについて ・農業生産体制の充実や6次産業化にかかる県普及センターによる指導の継続・拡充について ・魚食文化の普及について ・みえライフ・イノベーション総合特区事業について ・地域資源の有効活用と第1次産業の振興について 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年10月、第一次産業の発展、鳥羽の魅力発信、市民に楽しんでもらえる場を期待して、鳥羽マルシェがオープンします。 ・県においても、農業、漁業の発展、拡充について協力をお願いします。 ・地域資源を食材以外にも活用できないかと考え、今年、黒のりからボディスキンケア商品を開発することができました。こういったことについても、県のさらなる協力をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県では鳥羽市やJA等とともに、各集落ごとの野菜栽培研修会や、農業関係の「なごみ塾」、塾の卒業生による組織化を図り、栽培研究に取り組んでおり、今後も協力しながら進めていきたいと思っています。 ・魚食文化については、先月、魚食普及のための男性向け料理教室を開催し、40名程度の方々に参加してもらいました。 ・今後、こういった人たちが魚食普及に向けてのリーダーとなって進めていくのがよいかと思っています。 ・マルシェオープン後には、イベント等を開催して、魚食文化を普及していきたいと考えています。 ・ライフイノベーション総合特区についても、今後様々な商品開発をしていかなければならない中、ボディスキンケアジェルの発売については、県も協力していきたいと思っています。
4 鳥羽市	対談項目3 漂着ごみ問題の現状と課題	海岸漂着物地域対策推進事業の継続と補助対象の拡充について	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢湾に漂流するごみのほとんどが鳥羽市の離島に漂着するため困っています。 ・ごみの回収にかかる国の事業も平成25年度からの2カ年ということでしたが、平成27年度以降も継続すると聞いて安心しております。 ・鳥羽市では、シルバー人材派遣センターに委託して、年中市内のごみを拾う事業を実施しています。 ・これからもごみの回収等についてご支援をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度が期限となっている環境省の財政支援制度について、平成27年度以降も継続するよう求めており、また、漂着だけでなく漂流、海底ごみの回収についても補助対象とするよう求めてきましたが、8月末に出された環境省の概算要求に盛り込まれていたので、大変心強く思っています。 ・しかしながら、河川ごみの回収についても要望していたにも関わらず、概算要求からは外れていたため、引き続き要望していきたいと思っています。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
5 鳥羽市	対談項目4 森と海・きずな事業、 みえの森と緑の県民 税市町交付金の活用 について	<ul style="list-style-type: none"> ・市町で行う「地域の身近な水や緑の環境づくり」について ・伊勢志摩地域において木質バイオマス関連事業の推進について ・間伐材を活用した木の薫る空間づくりについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽市は平成23年度から「森と海・きずな事業」をしていますが、その中でも、伐採した木材を薪ストーブ用燃料として市民に無料でもらっていただいております、好評を博しています。 ・せっかく生えた木を有効活用するため、バイオマス発電に使う等、広めていただきたいと思います。 ・地元の木を使うには、搬出のための林道整備が重要であると考えています。 ・三重県の山林を活用するために林道整備についても、県で考えていただきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回導入した「みえ森と緑の県民税交付金」は、間伐搬出のみでは使えませんが、間伐材を搬出した後バイオマス利用の経費に使うことができますので、協力しながら一緒に進めていきたいと思っています。 ・林業を「業」として成長させていったり、林道の整備についても、来年度の重点項目として考えていますので、アイデアを教えてくださいとありがたいと思っています。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
6 鳥羽市	対談項目5 鳥羽市立神島小学校及び神島中学校の校舎建設について	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の造成に対する国の補助支援について ・学校施設改善交付金の特殊事情による加算について ・上記以外の県の支援策について 	<ul style="list-style-type: none"> ・神島小・中学校の建設について、8億数千万円程の事業費が必要ですが、国の補助は1億円程しか受けられない見込みとなっています。 ・このような事案に対して、国と県の補助があってもいいのではないかと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地造成に対する国の補助については、10戸以上の集団移転が条件という使いづらなものとなっているため、この支援策の拡充について、引き続き国に要望していきます。 ・施設整備についても、地域の実情に合わせ、離島地域に対する加算の更なる嵩上げを国に対して要望していきます。
7 鳥羽市	(当日追加項目) 人口減問題について		<ul style="list-style-type: none"> ・人口減、少子化対策が最も重要な問題だと思っています。 ・鳥羽市は子育て支援について重点的に取り組んでいます。 ・三重県も子育て支援に力を入れていただき、他の市町も県に応じて取り組むべきであると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民意識調査において、理想の子どもの数は2.5人、実際の子どもの数は1.7人となっており、理想と現実にギャップがある状態です。 ・県では、この希望が叶えられるように取り組んでいこうとしており、希望が叶えば合計特殊出生率は1.8~1.9に届いていくとの試算が出ているので、市町と連携して力を入れて取り組んでいきたいと思っています。